

情報工学分野		UNIX基礎					
学年	第2学年	担当教員名	土江田織枝, 林裕樹				
単位数・期間		1単位	前期	週あたりの開講回数	1回	必修	履修単位
授業の目標と概要		<p>UNIXの基本操作を習得する。Tgif による作図、gimpによる描画ができるようになる。 作成した評価物はウェブページにまとめることにより、情報メディアの操作についても習得する。 情報工学科では、UNIXの環境を使う授業が多いので、UNIXの基本操作を正しく習得すること ことでこれらの授業に対応できるようにする。</p> <p>釧路高専目標:C:100% 関連科目:プログラミング言語II他</p>					
		釧路高専目標	C:100%	JABEE目標			
履修上の注意(準備する用具・前提となる知識等)		<p>課題のレポートはなるべく授業時間内に提出すること。 時間内に終わらなかった場合は放課後を利用して完成し、提出期限内に必ず提出すること。</p>					
到達目標		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. エディタの使いかたを理解し文書の作成編集ができる。</li> <li>2. UNIXの基本操作を理解し使うことができる。</li> <li>3. gimp(描画)の使い方を理解し目的にあった使い方ができる。</li> <li>4. HTMLでウェブページを作成ができる。</li> <li>5. Tgif(作図)の使い方を理解し目的にあった使い方ができる。</li> </ol>					
成績評価方法		<p>最終評価：情報工学科の実験科目に関する評価基準の通り。 課題レポートを全て提出することは必須とする。 定期試験は実施しないが、確認テストを実施し評価を行う。 確認テスト50% + レポート50% 合否判定：最終評価<math>\geq 60\%</math></p> <p>定期試験は行わないので再試験は行わない。</p>					
テキスト・参考書		<p>教科書：担当教員作成の実習用ウェブページ・渡辺成良,若月光夫,織田健著 『「UNIX コンピュータリテラシー」ネットワーク時代の計算機利用とモラル』 共立出版 参考書：奥村晴彦著 『LATEX2<math>\epsilon</math> 美文書作成入門』 技術評論社 長谷川アンナ著 『GIMPのドリル!』 ソシム 山口和紀, 古瀬一隆著 『新The UNIX Super Text 上 改訂増補版』 技術評論社 自学自習用の問題集等：渡辺成良, 若月光夫, 織田健著 『「UNIXコンピュータリテラ シー」ネットワーク時代の計算機利用とモラル』 共立出版</p>					
メッセージ		<p>UNIXの基本操作は何度も繰り返し使うことで理解を深めます。積極的に学習に取り組んで下さい。</p>					
前関連科目		後関連科目		プログラミング言語II			

授業内容	
授業項目	授業項目ごとの達成目標
情報工学科の実験室環境でのコンピュータの使い方(1回) エディタ(emacs)の使い方 基本編・応用編 (3回) UNIXコマンドの使い方 基本編・応用編 (4回) 確認テスト	・ Login Logoutが行える。マナーを守って使うことができる。 ・ エディタemacsの使い方を習得する。 ・ UNIXコマンドの使い方を習得する。
前期中間試験	実施しない
描画ソフトgimpの使い方(2回) HTML文書の作り方(3回) 作図ソフトTgif(2回)	・ 描画ソフトgimpの使い方を習得し描画することができる。 ・ HTMLで箇条書き・表・リンクを記述することができる。 ・ 作図ソフトTgifの使い方を習得し作図を行うことができる。
前期期末試験	実施しない

到達目標			
1. エディタの使いかたを理解し文書の作成編集ができる。 2. UNIXの基本操作を理解し使うことができる。 3. gimp(描画)の使い方を理解し目的にあった使い方ができる。 4. HTMLによるホームページの作成ができる。 5. Tgif(作図)の使い方を理解し目的にあった使い方ができる。			
	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)
評価項目1	エディタの機能を使い、効率的に文書の作成編集ができる。	エディタの機能を使い、文書の作成編集ができる。	エディタの機能を理解できずに文書の作成編集ができない。
評価項目2	UNIXの基本操作を理解し、コマンドを組み合わせて効果的に操作を行うことができる。	UNIXの基本操作を理解し、適切なコマンドで操作を行うことができる。	UNIXの基本的なコマンドを理解することができない。
評価項目3	gimp(描画)の使い方を理解し、目的にあった描画を行うことができる。	gimp(描画)を使い、描画を行うことができる。	gimp(描画)を使った描画ができない。
評価項目4	HTMLのタグを理解し正しく使ってHTML文書を構築できる。	HTMLのタグを使ってHTML文書を構築できる。	HTMLのタグを使ったHTML文書を構築できない。
評価項目5	Tgif(作図)の使い方を理解し、目的にあった作図できる。	Tgif(作図)の使い、作図できる。	Tgif(作図)を使って作図することができない。

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	50	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	50	0	0	0	50	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0